

2012年度第2四半期 決算説明会

2012年11月9日

新日鐵住金株式会社

常務取締役

太田 克彦

目次

1. 2012年度上期決算実績
2. 2012年度決算見通し
3. 経営統合の進捗状況について
4. ご参考

1. 2012年度上期実績

2012年度上期決算実績

(単位:億円)	新日鉄 (A)				住金 (B)				新日鐵住金 (A+B)		
	1Q	2Q	FY12 上期	上見 ^{*1}	1Q	2Q	FY12 上期	上見 ^{*1}	1Q	2Q	上期
売上高	9,606	9,576	19,182	19,500	3,419	3,517	6,936	7,200	13,025	13,093	26,118
営業損益	-62	36	-26		-112	269	157	130	-174	305	131
経常損益	92	102	195	100	-110	218	108	100	-17	320	303
単独	-148	-86	-234	-200							
グループ会社等	241	189	430	300							
特別損益	-963	-1,616	-2,579		-155	-1,301	-1,456		-1,118	-2,917	-4,035
当期損益	-875	-891	-1,766	-1,550	-200	-1,138	-1,338	-1,280	-1,075	-2,029	-3,104
(一株当り当期利益)	(-13.9)	(-14.2)	(-28.1)	(-24.6)	(-4.3)	(-25.4)	(-29.3)	(-27.6)			
有利子負債残高	13,833		13,821		12,006 ^{*2}		12,639				
D/E レシオ	0.78		0.85		1.75		2.53				

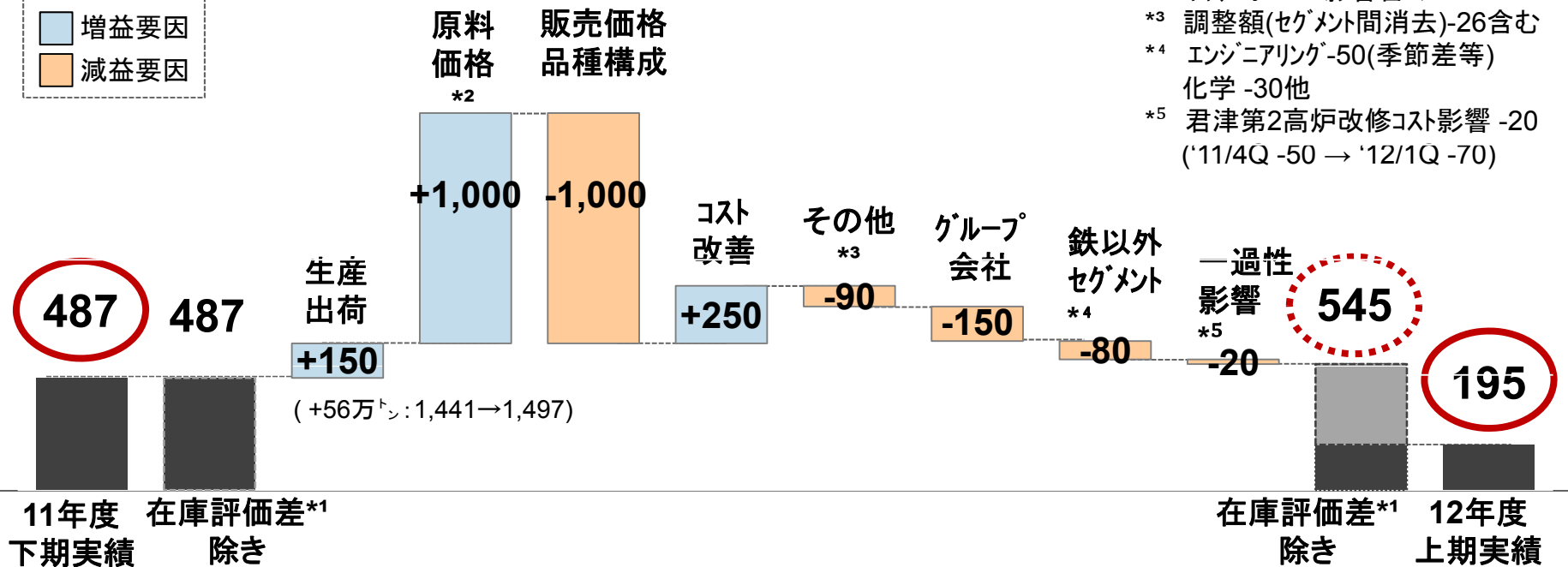
*1 前回公表(7/30)値。但し、当期損益は8/30公表ベース。

*2 住金の2012年度1Q末は借入残高を記載。

新日鉄一連結経常損益分析(11下期→12上期)

(単位:億円)	12年度 上期実績 (A)	11年度 下期実績 (B)	増減 (A←B)
経常損益	195	487	-292
単独	-234	-193	-41
鉄グループ会社	289	438	-149
鉄以外セグメント	225	300	-75
調整額	-84	-58	-26

■	増益要因
■	減益要因

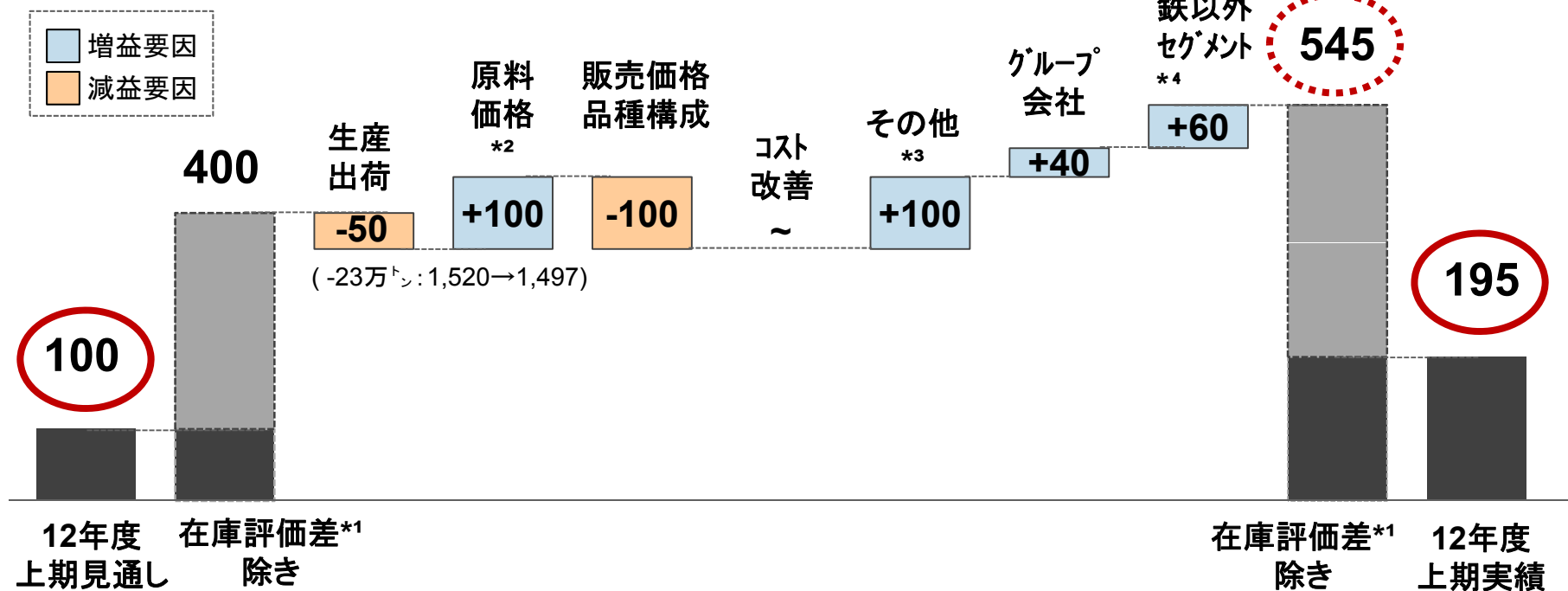


- *1 在庫評価差
'11下/0 → '12上/-350
- *2 キャリーオーバー影響含み
- *3 調整額(セグメント間消去)-26含む
- *4 エンジニアリング-50(季節差等)
化学 -30他
- *5 君津第2高炉改修コスト影響 -20
('11/4Q -50 → '12/1Q -70)

新日鉄一連結経常損益分析(12上見→12上実)

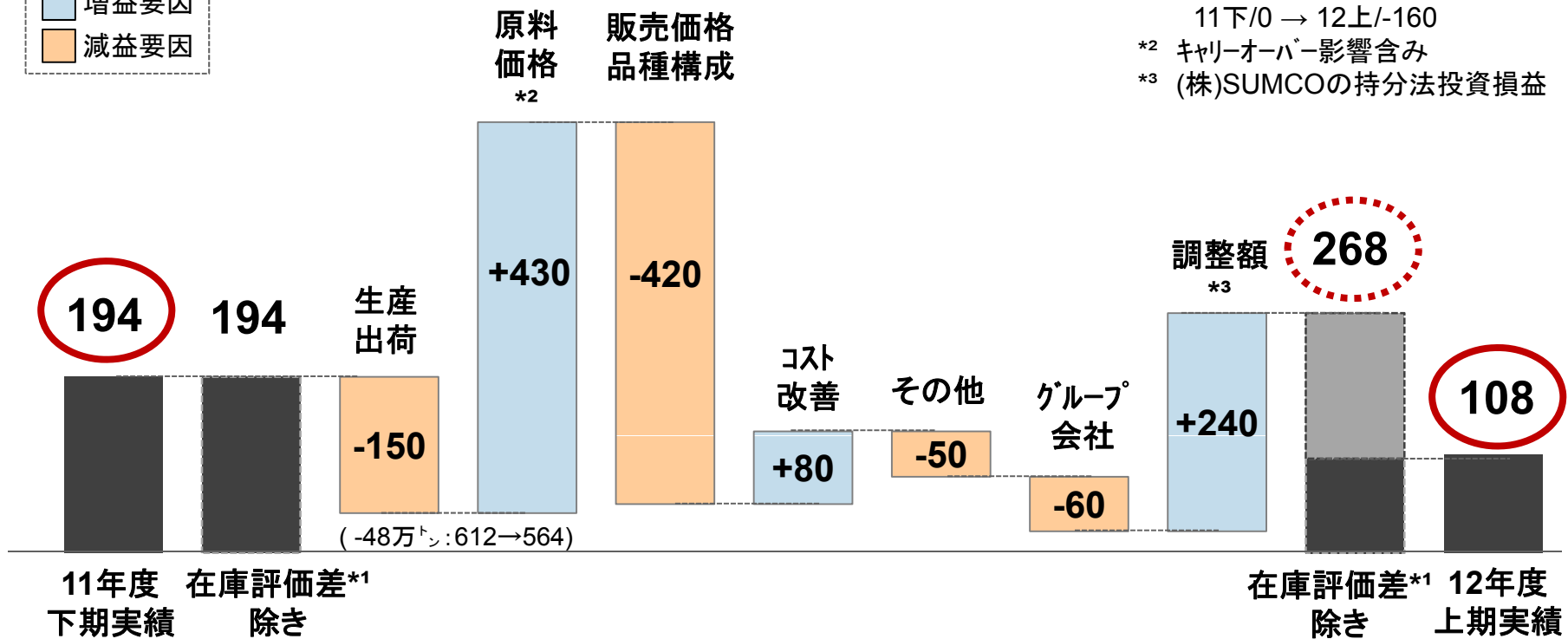
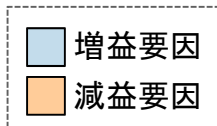
(単位:億円)	12年度 上期実績 (A)	12年度 上期見通し (B)	増減 (A←B)
経常損益	195	100	+95
単独	-234	-200	-34
鉄グループ会社	289	250	+39
鉄以外セグメント	225	165	+60
調整額	-84	-115	+31

- *1 在庫評価差
12上見/-300 → 12上実/-350
- *2 キャリーオーバー影響含み
- *3 調整額(セグメント間消去)+31含む
- *4 エンジニアリング+40, 都市開+10
化学 +5, システムソリューション+5



住金一連結経常損益分析(11下期→12上期)

(単位:億円)	12年度 上期実績 (A)	11年度 下期実績 (B)	増減 (A←B)
経常損益	108	194	-86
製鉄事業	94	425	-331
調整額	14	-231	+245

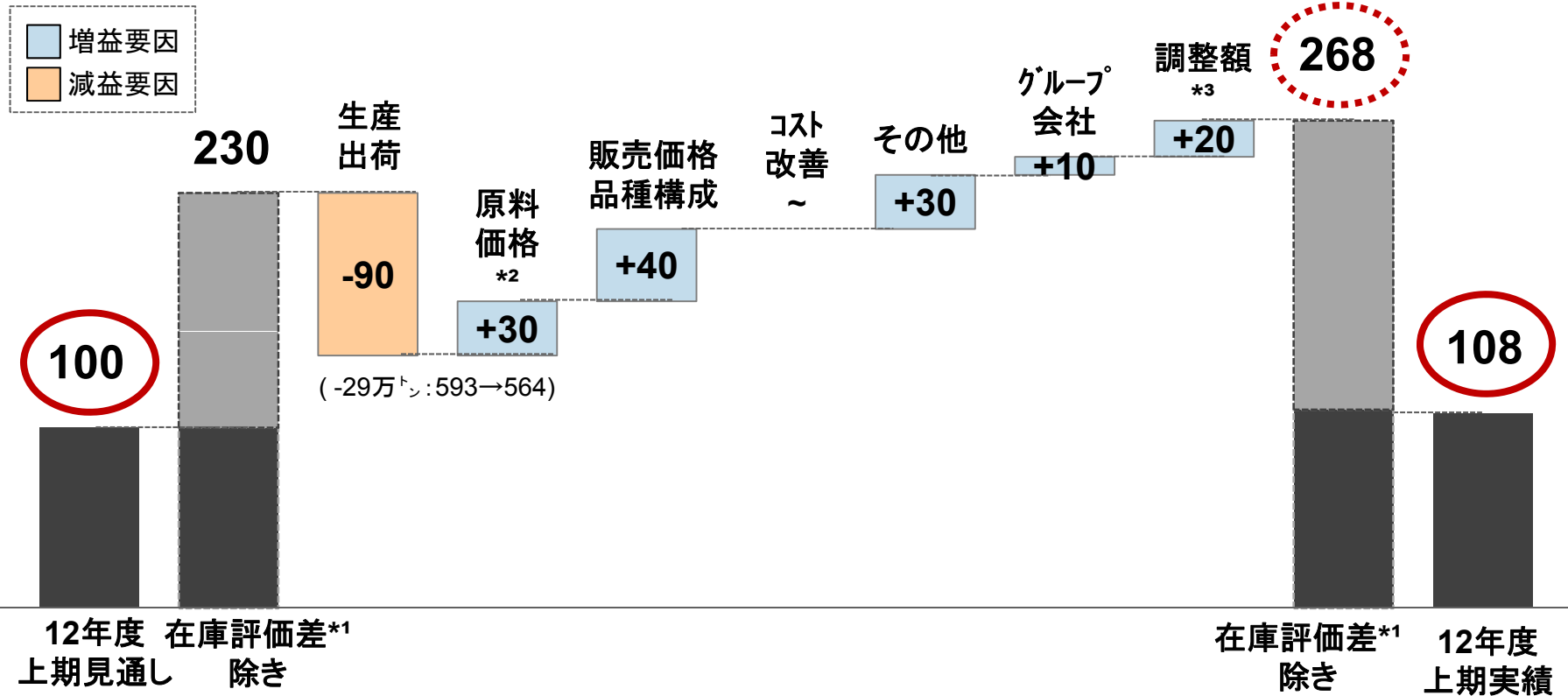


- *1 在庫評価差
11下/0 → 12上/-160
- *2 キャリーオーバー影響含み
- *3 (株)SUMCOの持分法投資損益




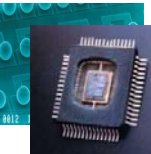

住金一連結経常損益分析(12上見→12上実)

(単位:億円)	12年度 上期実績 (A)	12年度 上期見通し (B)	増減 (A←B)
経常損益	108	100	+8
製鉄事業	94	100	-6
調整額	14	0	+14

- *1 在庫評価差
12上見/-130→12上/-160
- *2 キャリーオーバー影響含み
- *3 (株)SUMCOの持分法投資損益



製鉄以外セグメント概況(12上期実績)

12年度上期実績 (対前年同期)		売上高	経常損益	概況
	エンジニアリング 製鉄プラント、環境ソリューション、海洋、エネルギー、橋梁、建築	1,394 (+426)	78 (+77)	国内外ともに厳しい受注環境が継続する中で、実行中のプロジェクトでの万全なリスク管理とコスト改善に注力した結果、増収増益。
	都市開発 住宅、都市開発、大規模地域開発、ビルマネジメント	339 (+59)	49 (+8)	マンション分譲戸数の増加により増収増益
	化学 コールドケミカル、化学品、機能材料	933 (-76)	35 (-37)	コールドケミカル分野で販価が改善したものの、事業全般に販売数量の伸び悩みに加え、大規模修繕等の影響により、減収減益。
	新素材 半導体・電子産業部材、産業基礎部材、エネルギー・環境部材	220 (-65)	4 (-1)	売上高は減収するも、金ワイヤの銅化によるもの。経常損益は、世界景気の低迷、円高定着等の影響を受けるも、対前年同期並み。
	システムソリューション 業務ソリューション、基盤ソリューション、ビジネスサービス	817 (+54)	57 (+3)	業務ソリューション(産業・流通分野)、ビジネスサービス(鉄鋼・テレコム分野)を中心に、増収増益。
製鉄以外5事業セグメント計		3,705 (+399)	225 (+50)	

特別損益

- ・ 新日鉄：広畑・堺製鉄所の事業用資産の減損等により、-1,392億円の減損損失計上。並びに、新日鉄保有の住金株式の売却等-940億円の投資有価証券売却損等により、特別損失-2,579億円を計上。
- ・ 住金：住金鋼鉄和歌山の固定資産の減損等により、特別損失-1,456億円を計上。

(単位:億円)	新日鉄			住金		
	12年度 上実	12年度 上見 (7/30)	差異 (対上見)	12年度 上実	12年度 上見 (7/30)	差異 (対上見)
減損損失	-1,392	-	-1,392	-1,219	-	-1,219
投資有価証券 売却損	-940	-	-940	-	-	-
投資有価証券 評価損	-246	-963	+717	-236	-155	-81
特別損失	-2,579	-963	-1,616	-1,456	-155	-1,300

連結貸借対照表 (2012/3月末→2012/9月末)

減損損失の計上による固定資産の減少影響等に伴い、純資産も減少

(単位:億円)	新日鉄			住金			新日鐵住金(単純合算)		
	3E/12	9E/12	増減	3E/12	9E/12	増減	3E	9E	増減
【資産の部】									
流動資産	17,035	16,239	-796	6,580	6,118	-462	23,615	22,357	-1,258
固定資産	32,212	30,525	-1,687	17,280	16,071	-1,209	49,492	46,596	-2,896
資産計	49,247	46,764	-2,483	23,861	22,189	-1,672	73,108	68,953	-4,155
【負債及び純資産の部】									
流動負債	13,362	13,086	-275	6,910	7,147	+236	20,272	20,233	-39
固定負債	12,411	12,286	-125	9,336	9,514	+178	21,747	21,800	+53
負債計	25,773	25,373	-400	16,246	16,662	+416	42,020	42,035	+15
純資産	23,473	21,391	-2,082	7,614	5,527	-2,087	31,088	26,918	-4,170
自己資本	18,289	16,318	-1,971	7,093	5,001	-2,092			
有利子負債残高	13,345	13,821	+476	11,721 ^{*1}	12,639	+918	25,066	26,460	+1,394
D/Eレシオ	0.73	0.85	+0.12	1.65	2.53	+0.87			

*1 住金の2012年3月末は借入残高を記載。

剰余金の配当(第2四半期末)について

■ 新日鉄

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただきます。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

■ 住金

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当につきましては、既公表の通り、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただいております。

2. 2012年度決算見通し

2012年度決算見通しについて

2012年度下期の収益は、上期の両社合算の連結経常利益(300億円程度)と同レベルの収益は確保したい。

- ・海外経済の減速
 - ・中国関連ビジネスにおける生産活動の低下
- これらの及ぼす影響の度合いと回復の時期の見極めが困難

合併処理について

新日鉄 — 2012. 9E

(単位:億円)

有利子負債残高	13,821
自己資本	16,318

D/Eレシオ	0.85
--------	------

住金 — 2012. 9E

(単位:億円)

有利子負債残高	12,639
自己資本	5,001

D/Eレシオ	2.53
--------	------

原料決済条件の統一等

(参考) 統合による増加資本

交付株式 32.0億株 × 158円/株	5,057
自己株式	-652
計	4,404

新日鐵住金 — 2012. 10.1

(単位:億円)

有利子負債残高	27,000
自己資本	20,700

D/Eレシオ	1.3程度
--------	-------

合併のれんについて

2012年度3Q決算時に
確定・公表予定

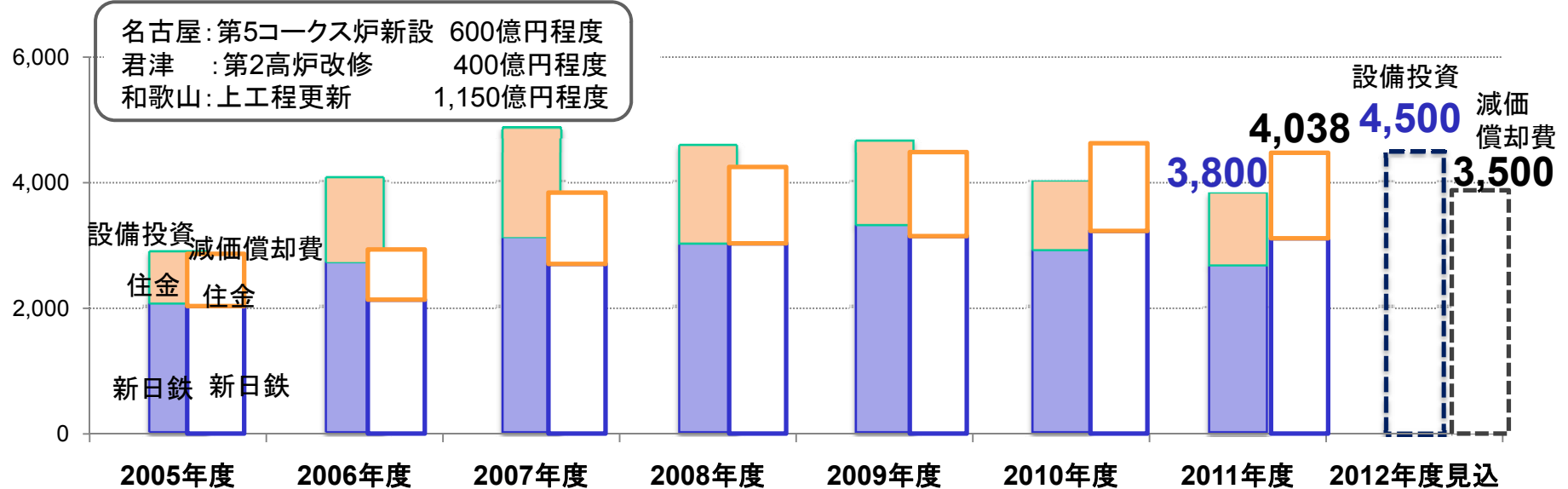
9E住金自己資本(簿価)	5,000
資産負債の時価評価 <算定中>	- α
住金時価純資産 [A]	5,000 - α
取得対価 (新日鉄交付株式時価 [B])	5,060
のれん(正) [B - A]	60 + α 程度

設備投資・減価償却費

(単位: 億円、両社連結ベース)









新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度 見 通 し
設備投資額 <工事ベース>	2,850 (2,050) (826)	4,050 (2,700) (1,358)	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,500
減価償却費	2,585 (1,833) (752)	2,647 (1,925) (722)	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,500

2012年度の主な新規設備投資案件



※ 設備投資額：2005～2011年度の新日鐵住金は、旧新日鉄と旧住金の合算値を50億円単位で丸めて合算

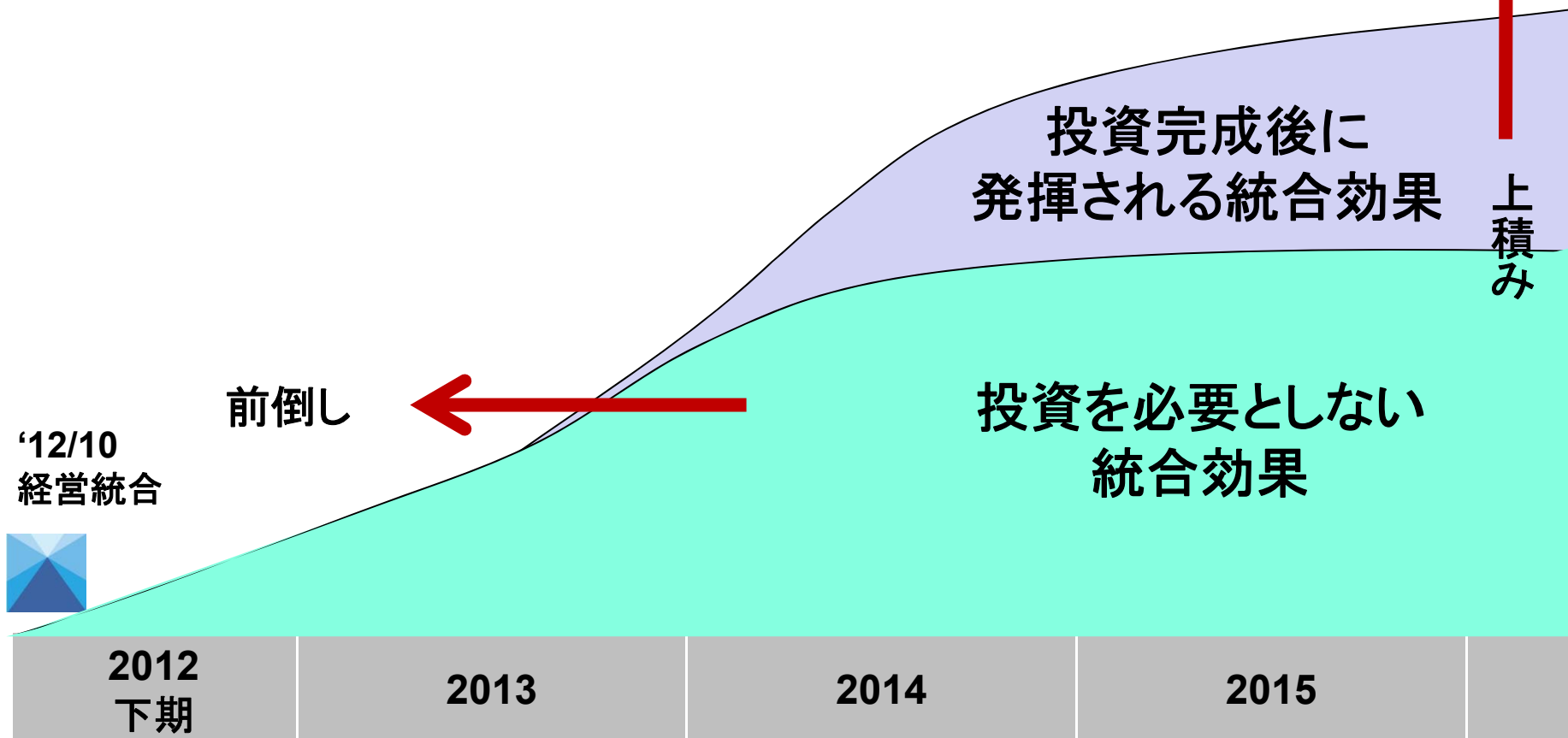
主要な海外事業投資の進捗

		%: NSSMC出資比率	投資額	主要設備	製造能力	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15
事業投資	自動車用鋼板	 TENIGAL (メキシコ) 49%	約 300百万\$	CGL	40万 トン/年			★ CY13		
		 TATA とのJV (インド) 49%	約 400億円	CAPL	60万 トン/年			★ FY13		
		 NSGT (タイ) 100%	約 300百万\$	CGL	36万 トン/年			★ '13/10		
	建材薄板	 NSBS (BlueScopeとのJV) (シンガポール他) 50%	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万 トン/年-CGL		★	~'13/3E 取得手続き完了		
		 CSVC (ベトナム) 30%	1,150億円 (JV合計額)	CDCM	120万 トン/年		★	FY12		
	鋼管	 NS Pipe Mexico (メキシコ) 55%	約39百万\$	電縫鋼管 造管等	2.4万 トン/年			★ '13/6		
		 VSB (ブラジル) 40%	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万 トン/年-SML		★	FY12 高炉稼働		
		 WSPヒューストンOCTG 工場設備(米国) 100%	43百万\$	油井管 熱処理等	7万 トン/年					★ FY15本格商業生産

3. 経営統合の進捗状況について

統合シナジーの早期実現と上積み

統合シナジーは、最大限上積みし、年率2,000億円の実現を目指します。



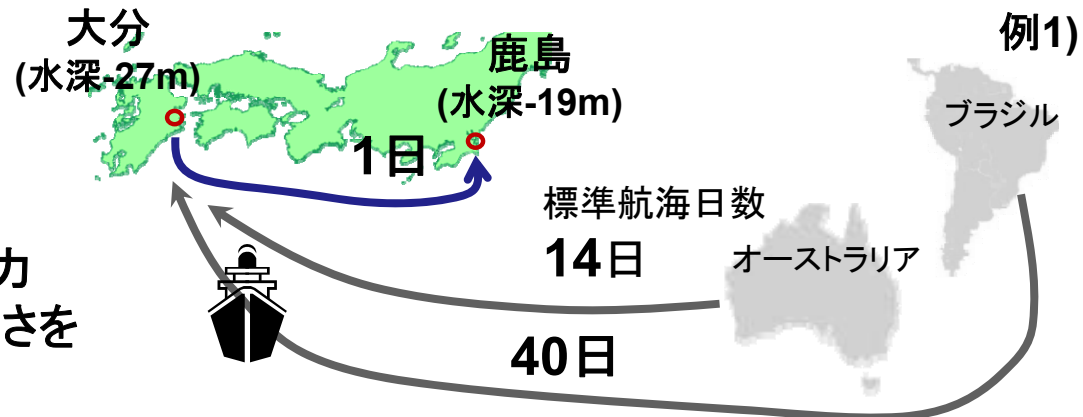
2012年度下期に実現する統合効果の事例

2012年度下期には、約100億円の統合効果を実現します。

原料輸送コストの削減

例) 大分 → 鹿島
大型原料船の活用

国内最強のコスト競争力を有する両製鉄所の強さを更に強くします。



近隣製鉄所間の連携強化

例) 八幡 ↔ 小倉

- ・八幡から天然ガスを小倉に供給 (小倉の重油を転換)
- ・鉄源 (例 スクラップ) の相互活用
- ・その他、八幡から小倉へのエネルギー、コークス等の供給検討



財務体質の早期改善に向けた資産圧縮の実行

両社の重複資産圧縮等により、約3,000億円規模の資金を確保し、財務体質の改善と成長資金への充当を行います。

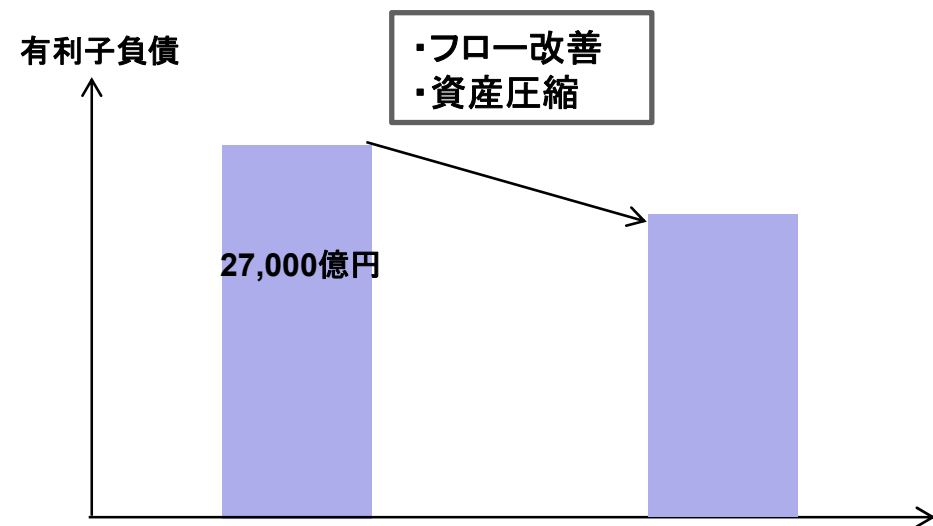
(参考)2012.10.1 統合時点のD/Eレシオ 1.3程度
→ 国際格付けA格相当の財務体質を早期に実現

■ 運転資金の削減 …… 両社販売・購入条件の統一化、棚卸資産の圧縮

■ 資産の売却

■ グループ資金の効率化

■ その他個別の対策



グループ会社統合の進捗状況

今後もグループ会社の統合を進め、強い新日鐵住金グループを構築します。

	リリース日	発足(予定)日
■ パイプライン子会社の統合 日鉄パイプライン(株)と住友金属パイプエンジ(株) →「日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)」発足(新日鉄住金エンジニアリング(株)100%出資)	(2012/06/26)	2012/10/01
■ 物流子会社の統合 日鐵物流(株)と住友金属物流(株)の事業統合再編 →「日鉄住金物流(株)」発足	(2012/09/05)	2013/04/01
■ タイにおける棒線二次加工事業会社の統合 Steel Processing(Thailand) Co., Ltd.とNippon Steel Bar & CH Wire(Thailand) Co., Ltd.	(2012/10/02)	2013/01
■ 試験分析子会社の統合 (株)日鐵テクニサーチ(子会社5社含む)と住友金属テクノロジー(株)との統合 →「日鉄住金テクノロジー(株)」発足	(2012/10/03)	2013/04/01
■ 太平工業(株)と(株)日鉄エレックスの合併 「日鉄住金テックスエンジ(株)」発足	(2012/09/28)	2013/10/01

特許資産規模ランキング*

- ・ 鉄鋼・非鉄金属・金属製品業界で1位を取得。
- ・ 今後も技術・研究開発を推進し、当社の強みである技術先進性と研究開発力でもって、国内外のお客様のニーズに応え続けます。

2011年度(鉄鋼・非鉄金属・金属製品業界)			
順位	企業名	特許資産規模 (pt)	登録件数
1	新日鐵住金	73,158	1,685
(1)	(新日鐵)	(58,349)	(1,291)
(6)	(住金)	(14,809)	(394)
2	JFEスチール	26,791	1,080
3	住友電気工業	26,343	907
4	古河電気工業	25,742	631
5	神戸製鋼所	15,701	623

(対象特許: 2011/4/1~2012/3/31 登録特許)

2010年度(鉄鋼・非鉄・金属製品業界)			
順位	企業名	特許資産規模 (pt)	登録件数
1	新日本製鐵	44,181	1,074
2	住友電気工業	22,336	650
3	神戸製鋼所	19,662	618
4	JFEスチール	18,484	843
5	古河電気工業	17,661	496
6	住友金属工業	15,200	369

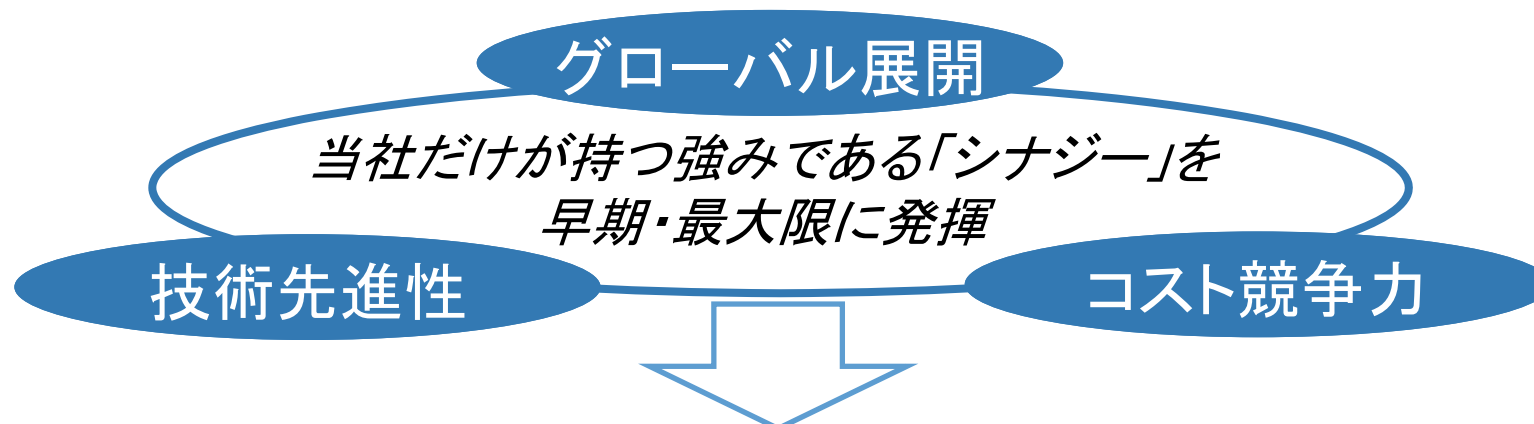
(対象特許: 2010/4/1~2011/3/31 登録特許)

* パテントリザルト社が独自に、各社の登録特許を年度ごとに量と質の両面から総合評価を行った特許資産価値評価ランキング

(出所:パテントリザルト社)

中期経営計画の策定方針について

厳しい経営環境を勝ち抜き、「総合力世界No1の鉄鋼メーカー」実現に向けた中期経営計画を策定します。



- 事業毎、品種毎にあるべき姿を描き、持続的な成長に向けて
取り組んでいく中長期施策
- 2～3年を目途に、国際競争を勝ち抜く抜本的な体質強化期間と
位置づけ、重点施策を強力に実行

2012年度内に公表します

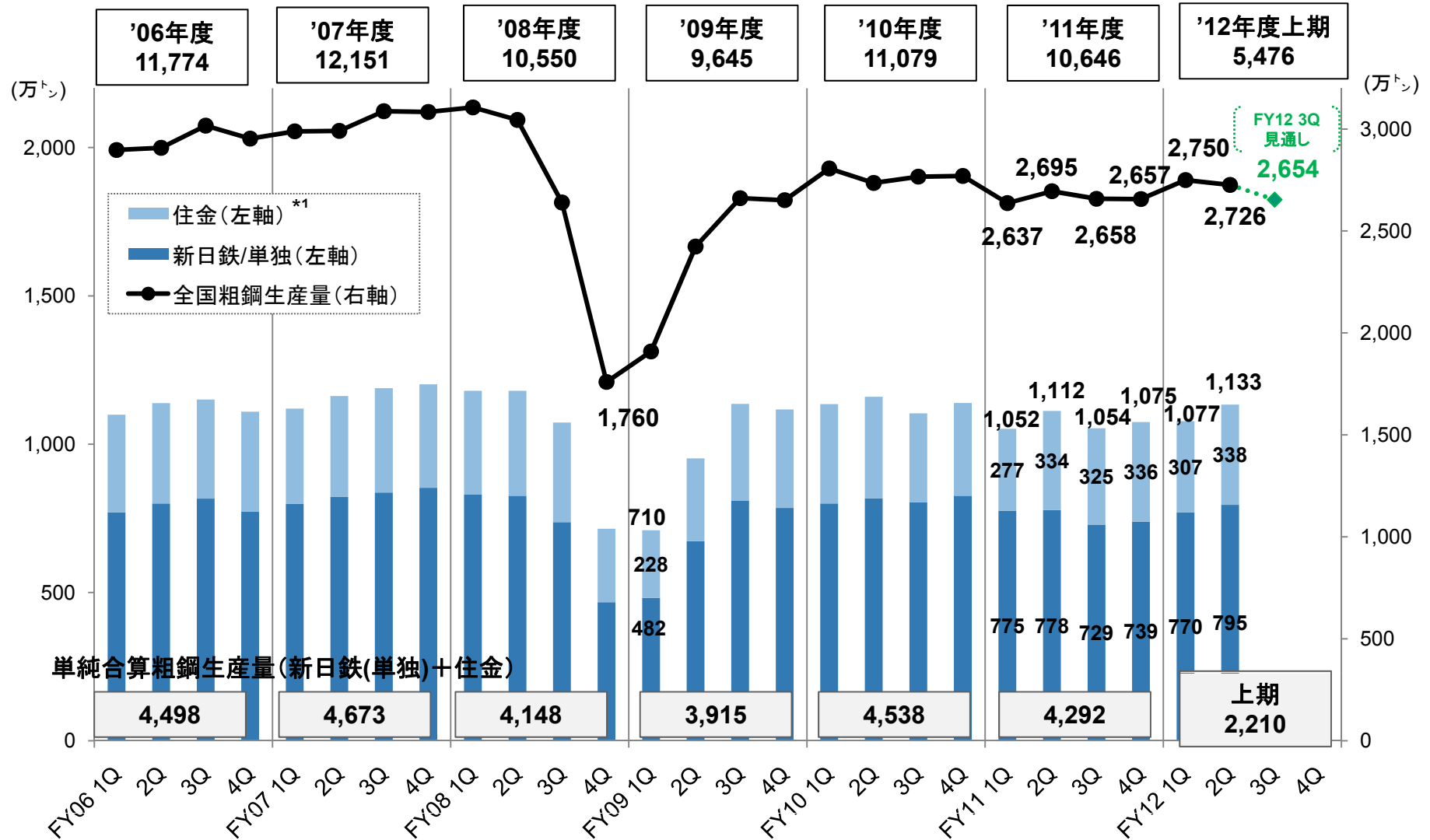
4. ご参考

1) 主要な鉄鋼マーケット情報

粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量

(2012/9/28 FY12 3Q全国粗鋼生産量見通し 経済産業省発表)



*1 住金の数値は、旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

製鉄事業諸元^{*1} ①

(単位:万ト)	2011年度					2012年度					差異	
	上期	3Q	4Q	下期		1Q	2Q見 (7/30)	2Q	上見 (7/30)	上期	11下 → 12上	12上見 → 12上実
出鉄量 ^{*2}	2,180	1,084	1,070	2,154	4,333	1,080	(1,157)	1,133	(2,240)	2,213	+59	-27
新日鉄	1,579	757	741	1,498	3,077	778	(820)	801	(1,600)	1,579	+81	-21
住金	601	327	329	656	1,256	302	(337)	332	(640)	634	-22	-6
粗鋼生産量(連結)	2,281	1,116	1,140	2,256	4,537	1,139	(1,214)	1,194	(2,354)	2,334	+78	-20
新日鉄	1,661	785	798	1,583	3,244	829	(860)	851	(1,690)	1,681	+98	-9
住金	620	331	342	673	1,293	310	(354)	343	(664)	653	-20	-11
粗鋼生産量(単独)	2,164	1,054	1,075	2,128	4,292	1,077	(1,148)	1,133	(2,225)	2,210	+82	-15
新日鉄	1,553	729	739	1,467	3,020	770	(800)	795	(1,570)	1,566	+99	-4
住金	611	325	336	661	1,272	307	(348)	338	(655)	644	-17	-11
鋼材出荷量	1,980	1,019	1,035	2,053	4,033	1,024	(1,085)	1,036	(2,113)	2,061	+8	-52
新日鉄	1,468	720	721	1,441	2,909	746	(770)	750	(1,520)	1,497	+56	-23
住金	512	299	314	612	1,124	278	(315)	286	(593)	564	-48	-29
(参考)												
シームレス出荷量 ^{*3}	47	26	26	52	99	24	(28)	27	(52)	51	-1	-1

*1 住金の数値は、旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

*2 新日鉄: 北海製鉄含み、住金: 旧住金鋼鉄和歌山含み

*3 旧住金分のみ記載

製鉄事業諸元^{*1}②

(単位:万ト)	2011年度					2012年度					差異	
	上期	3Q	4Q	下期		1Q	2Q見 (7/30)	2Q	上見 (7/30)	上期	11下 → 12上	12上見 → 12上実
鋼材平均価格 (千円/ト)												
新日鉄	87.8	87.6	81.5	84.5	86.2	80.0	(79)	75.6	(80)	77.8	-6.7	-2.2
住金	106.0	103.1	99.8	101.4	103.5	94.7	(95)	94.4	(95)	94.5	-6.9	-0.5
鋼材輸出比率(金額ベース) (%)												
新日鉄	41	37	38	37	39	42	(41)	42	(42)	42	+5	~
住金	45	40	43	42	43	46	(48)	45	(47)	46	+4	-1
為替レート (¥/\$)												
	80	78	78	78	79	81	(80)	79	(80)	80	+2円安	~

*1 住金の数値は、旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

主要需要分野の活動水準推移

		2011年度					2012年度			差異	
		上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q	2Q	上期	11下 →12上	11上 →12上
建築	住宅着工戸数 (万戸)	43	21	20	41	84	22	23	44	+3	+1
	非住宅着工 (万m ³)	2,495	1,151	1,107	2,258	4,752	1,257	1,336	2,593	+335	+98
自動車	完成車生産台数 (万台)	390	259	277	536	927	247	243	491	-46	+100
	完成車輸出台数 (万台)	198	137	127	264	462	122	115	237	-27	+38
	海外生産(8社) (万台)	604	333	398	731	1,335	397	366	763	+32	+159
産業機械	大中型ショベル (千台)	33	23	22	45	78	20	19	39	-5	+5
	金属工作機械 (千ト)	222	114	118	232	454	103	112	215	-17	-7
	フォークリフト (千台)	59	31	29	59	118	28	29	57	-2	-2
造船	新造船起工 (当社推定) (万グロスト)	876	428	411	839	1,715	360	345	705	-134	-171

リグカウントの状況	06年平均	07年平均	08年平均	09年平均	10年平均	11年平均	直近
米国	1,649	1,768	1,879	1,089	1,546	1,875	1,800 (12/11/2)
深井戸(≥15,000ft)	225	222	283	249	249	395	286 (12/8)
北米・露・中を除く世界	925	1,005	1,079	997	1,094	1,167	1,226 (12/9)

(出所:各種統計資料・当社推定)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

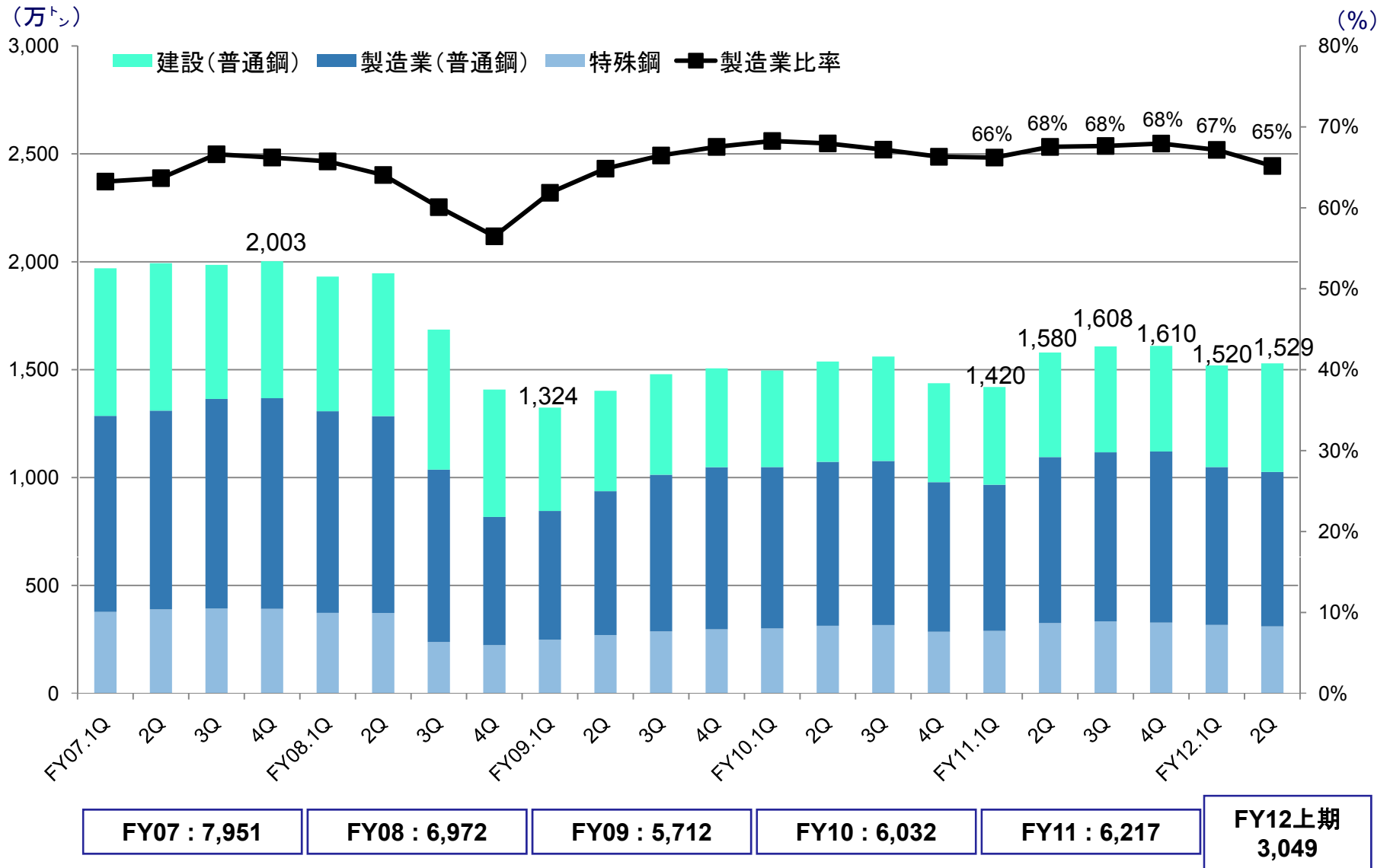
主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万トン)	2011年度					2012年度			差異	
	上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q	2Q	上期	11下 →12上	11上 →12上
全国粗鋼生産量	5,332	2,658	2,657	5,315	10,646	2,750	2,726	5,476	+161	+144
国内鋼材消費	2,999	1,608	1,610	3,218	6,217	1,520	1,529	3,049	-169	+49
製造業比率 (%)	66.9	67.6	67.9	67.8	67.4	67.2	65.2	66.2	-1.6	-0.7
普通鋼鋼材消費	2,385	1,275	1,282	2,557	4,941	1,203	1,218	2,421	-136	+37
建設	938	491	489	980	1,918	471	503	974	-6	+36
製造業	1,446	783	793	1,577	3,023	731	716	1,447	-130	~
ウチ、造船	285	138	133	271	556	116	111	227	-44	-58
ウチ、自動車	507	302	322	624	1,131	292	286	578	-46	+71
ウチ、産業機械	247	133	127	260	506	123	120	242	-17	-4
ウチ、電機機械	159	78	80	158	318	78	76	154	-5	-5
特殊鋼鋼材消費	615	333	328	661	1,276	317	311	628	-34	+13
鋼材輸入	290	180	154	334	624	146	150	296	-38	+6
鋼材輸出	1,876	840	930	1,770	3,646	993	984	1,977	+207	+101

(出所:各種統計資料・当社推定)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材消費推移

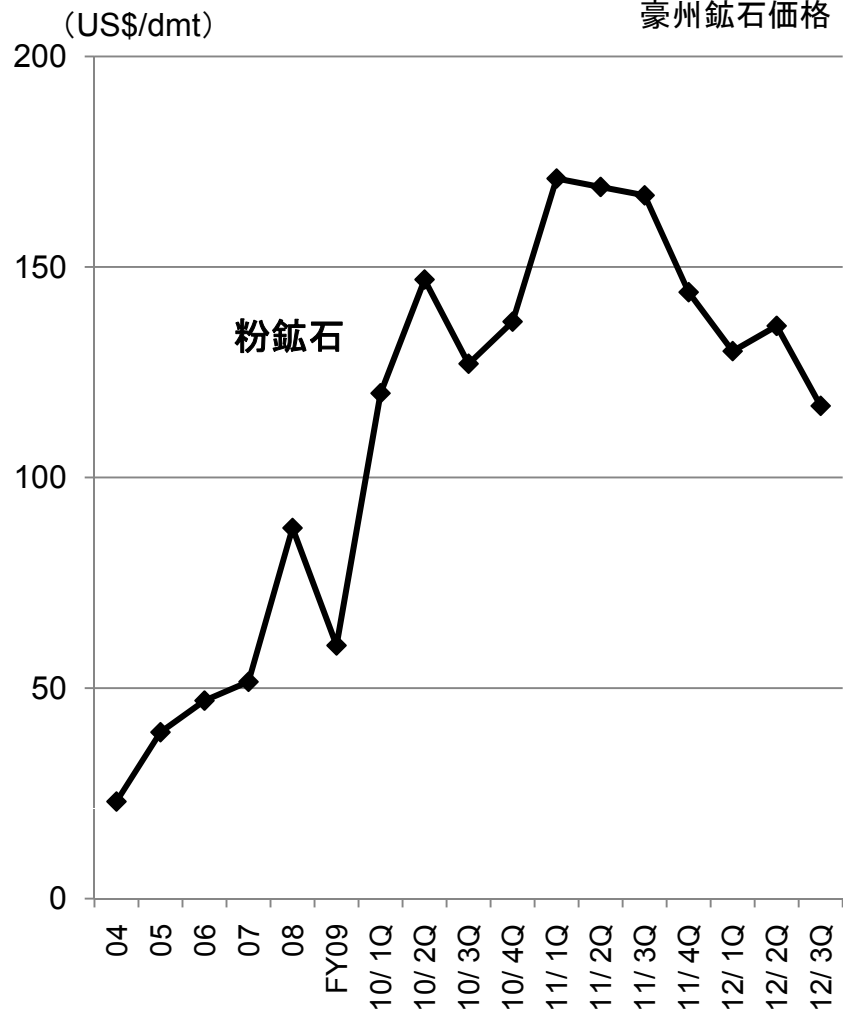


(出所:各種統計資料・当社推定)

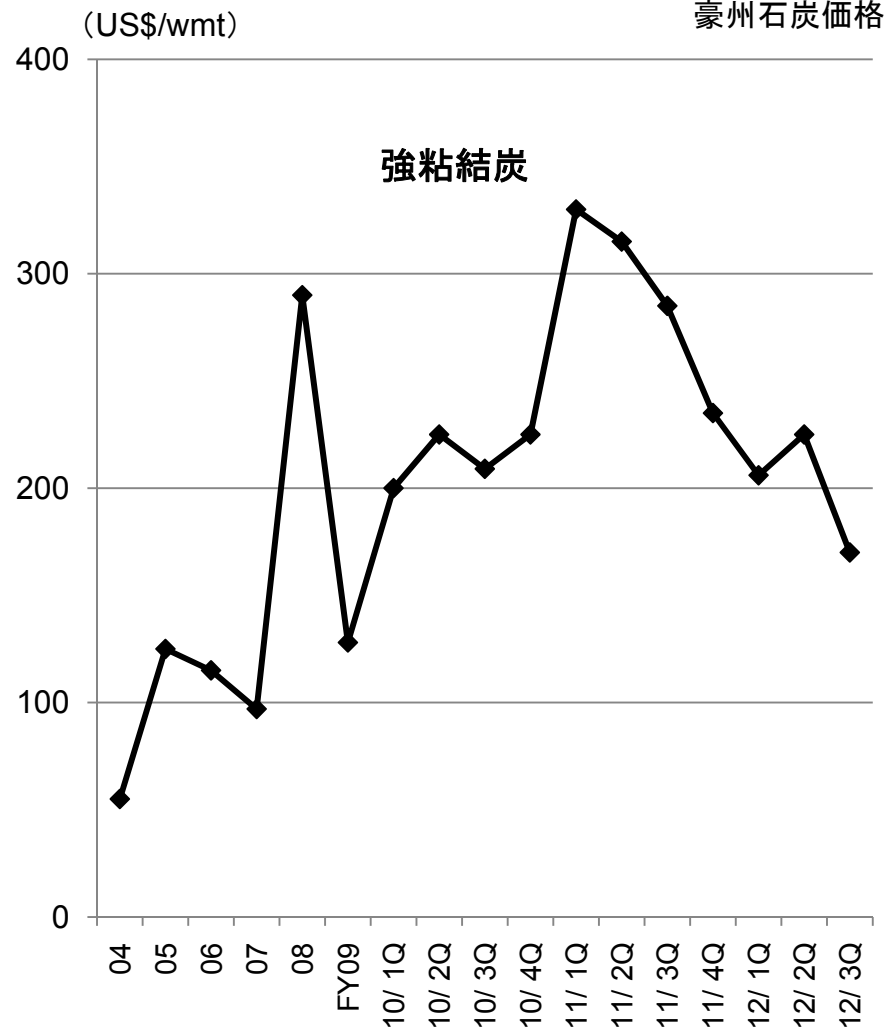
© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

鉄鉱石



原料炭



2) その他鉄鋼マーケット環境

世界の経済成長率推移

<2012年10月9日IMF改定値>

前回 (2012.7.16)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012 見通し		2013 見通し	
世界合計	4.4	5.1	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.8	(3.5)	3.3	(3.9)	3.6
先進諸国	2.6	3.0	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.6	(1.4)	1.3	(1.9)	1.5
米国	3.1	2.8	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	(2.0)	2.2	(2.3)	2.1
欧州	1.6	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.4	(-0.3)	-0.4	(0.7)	0.2
日本	1.9	2.4	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.8	(2.4)	2.2	(1.5)	1.2
新興諸国	7.1	7.9	8.3	6.1	2.7	7.5	6.2	(5.6)	5.3	(5.9)	5.6
中国	10.4	11.6	13.0	9.6	9.2	10.4	9.2	(8.0)	7.8	(8.5)	8.2
インド	9.1	9.8	9.4	7.3	6.8	10.6	6.8	(6.1)	4.9	(6.5)	6.0
ASEAN5*	5.5	5.7	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	(5.4)	5.4	(6.1)	5.8
ロシア	6.4	7.4	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	(4.0)	3.7	(3.9)	3.8
ブラジル	3.2	3.8	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	(2.5)	1.5	(4.6)	4.0

*ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所: IMF)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.



新日鐵住金

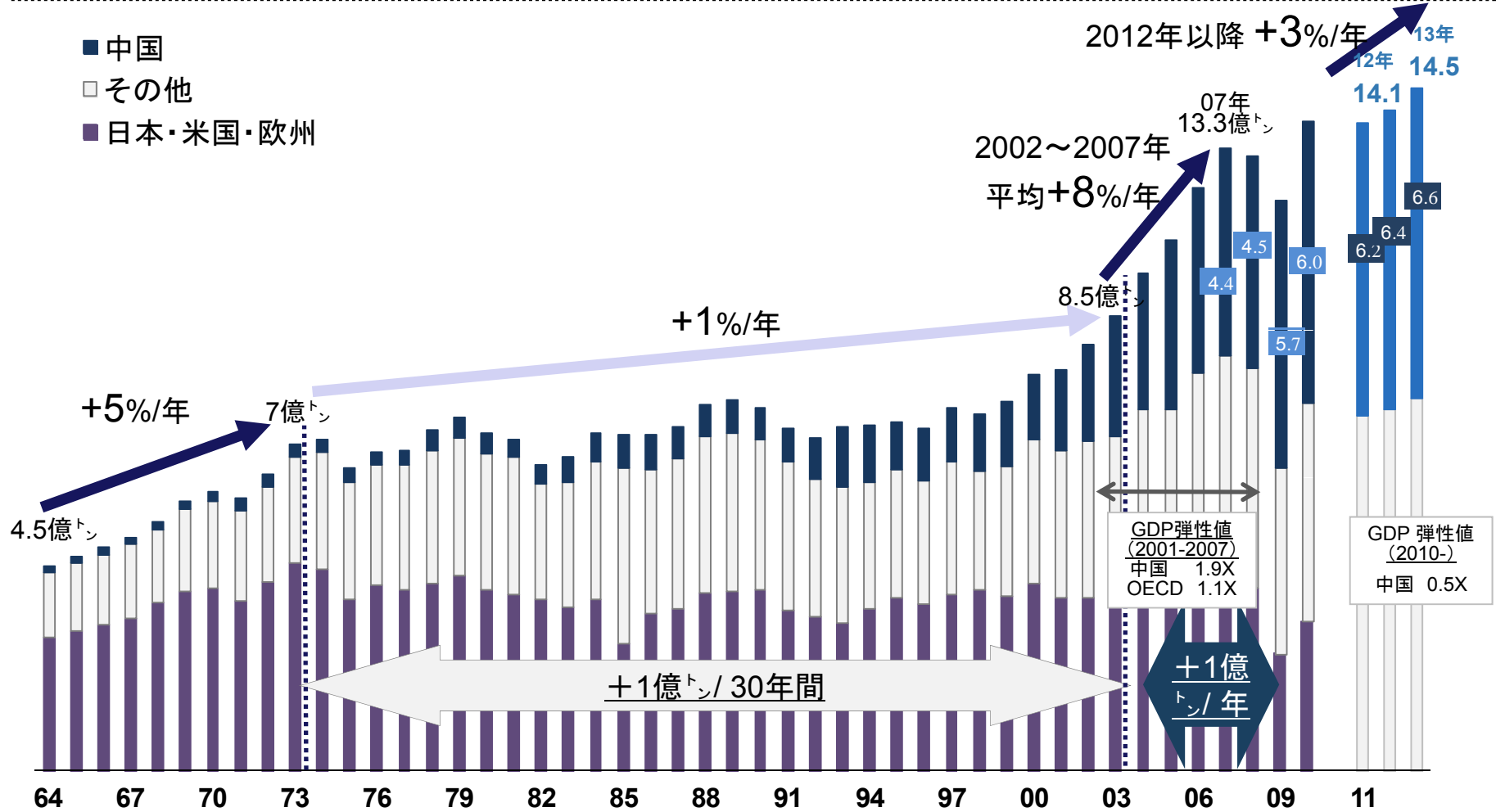
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

世界の鉄鋼需要推移(粗鋼見掛消費)

(*11~13年は鋼材見掛消費(12年10月WSA発表))



- 中国
- その他
- 日本・米国・欧州



(出所: world steel association)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

世界粗鋼生産量

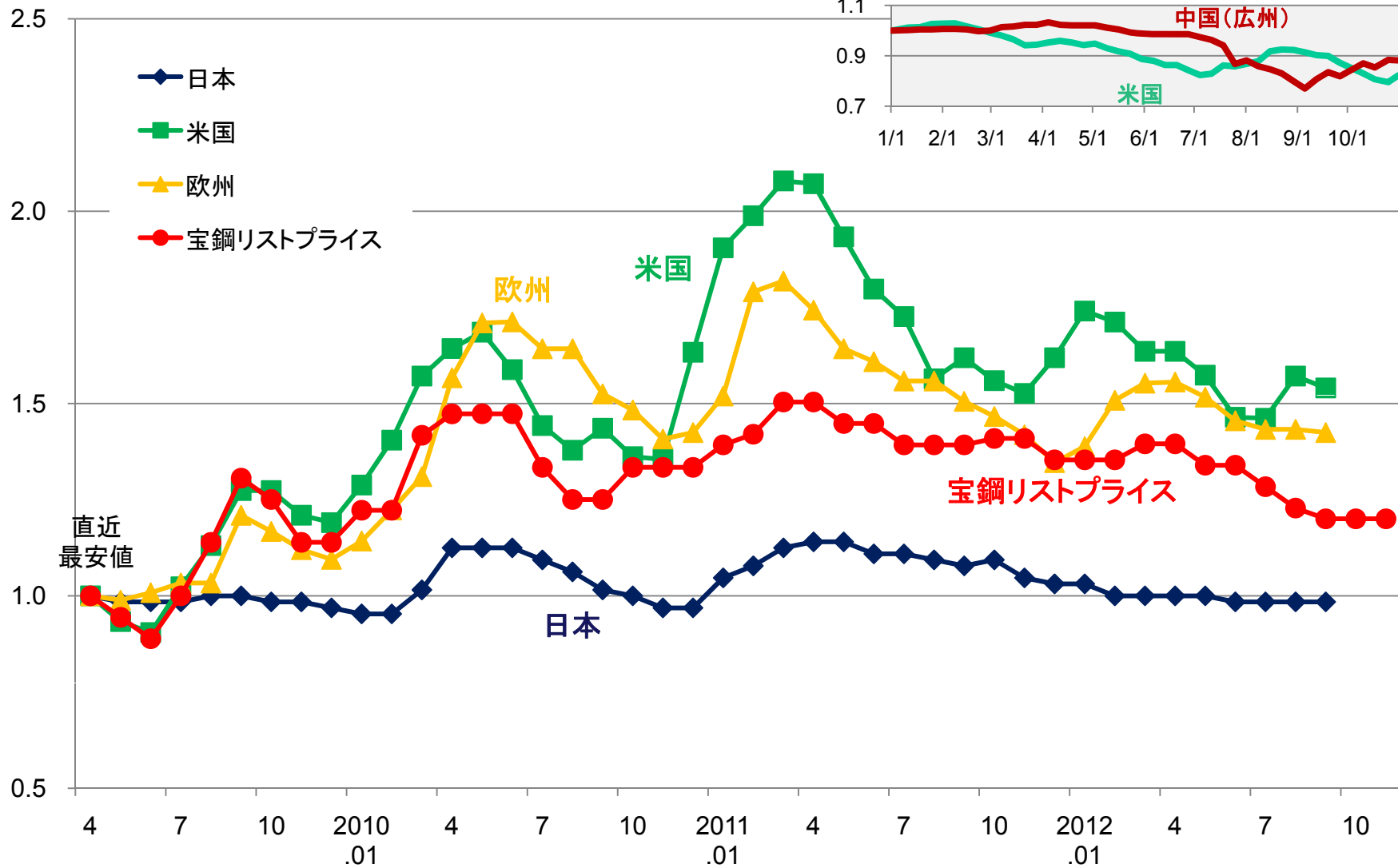
(単位: 百万t)	2011年						2012年(A)				2012年 年率 換算 (A*12/9)
	7	8	9	7-9	10-12		7	8	9	7-9	
世界 ^{*1} 計 (対前年)	127.2 +11.3%	125.0 +10.3%	123.6 +9.9%	375.9 +10.5%	356.5 +3.0%	1,490.1 +5.4%	129.7 +2.0%	123.7 -1.0%	123.6 +0.0%	377.1 +0.3%	1,518.3 +1.9%
日本 (対前年)	9.2 -0.8%	8.9 +0.1%	8.9 -3.8%	27.0 -1.5%	26.6 -4.0%	107.6 -1.8%	9.3 +1.2%	9.2 +3.4%	8.8 -1.0%	27.3 +1.0%	108.4 +0.8%
韓国 (対前年)	5.7 +20.5%	5.5 +18.6%	5.5 +17.2%	16.7 +18.8%	17.8 +12.4%	68.5 +17.3%	5.9 +4.4%	5.7 +2.8%	5.6 +1.8%	17.2 +3.0%	69.7 +1.8%
米国	7.4	7.5	7.2	22.1	21.8	86.2	7.4	7.5	7.0	22.0	90.2
欧州	15.0	12.7	14.7	42.4	42.1	177.4	14.2	12.2	14.1	40.5	172.4
ロシア	5.7	5.9	5.4	17.0	17.4	68.7	5.9	5.8	6.2	17.9	72.1
ブラジル	3.1	3.0	2.9	8.9	8.3	35.2	3.0	2.8	2.8	8.7	34.7
インド	6.2	6.2	5.8	18.1	18.3	72.2	6.6	6.4	6.2	19.1	74.2
中国 (対前年)	59.2 +15.3%	59.7 +15.6%	57.6 +18.3%	176.5 +16.4%	156.7 +3.3%	683.3 +8.9%	61.7 +4.2%	58.7 -1.7%	58.0 +0.6%	178.3 +1.1%	712.8 +4.3%

*1 世界62カ国の合計値 (出所: World Steel Association)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

世界各国ホットコイル市況推移

(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

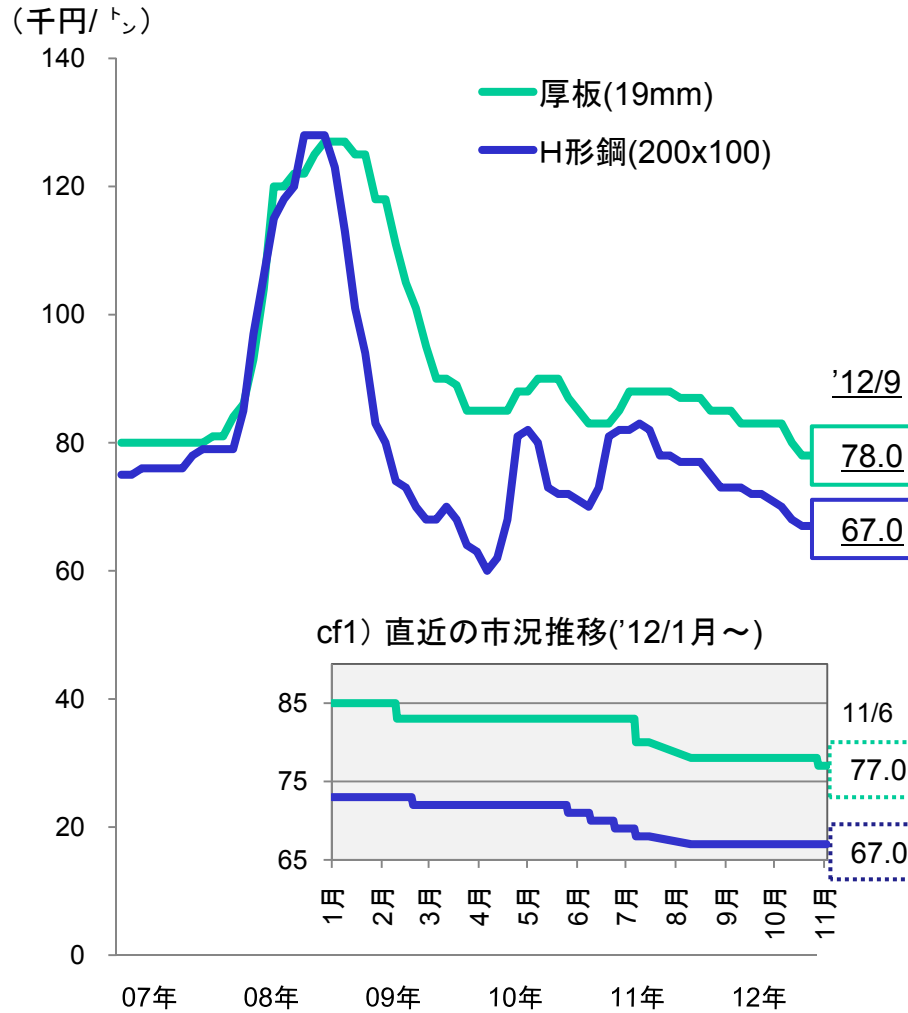


(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

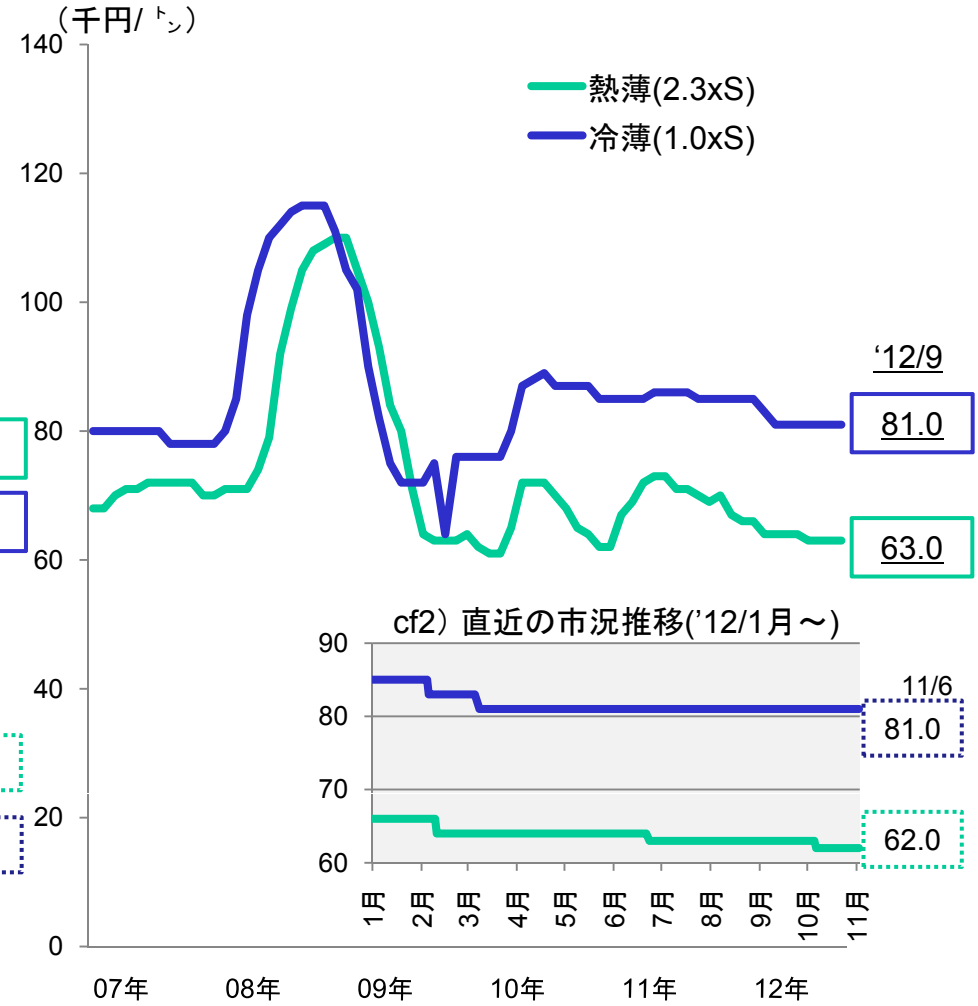
© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼



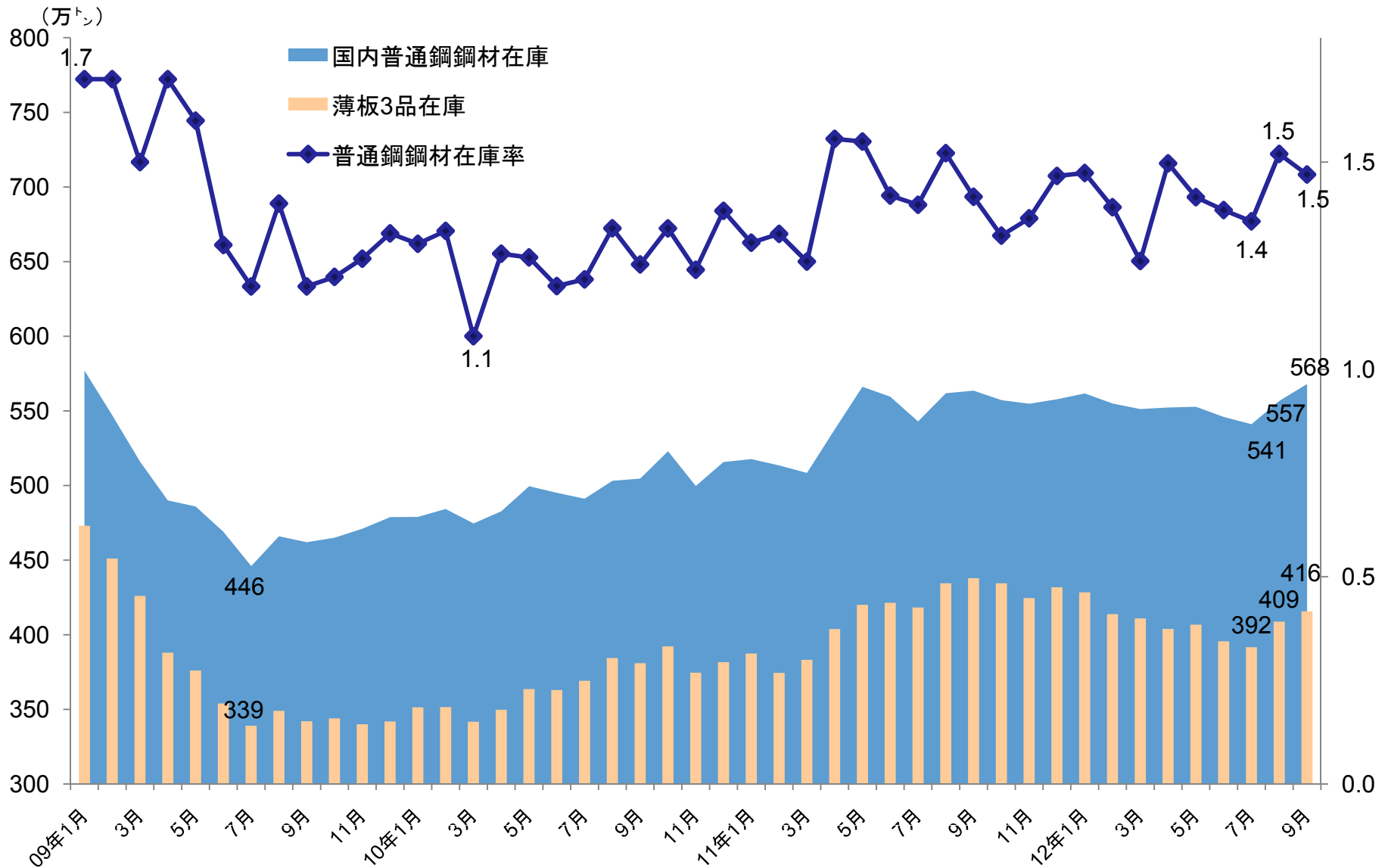
熱延・冷延



(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

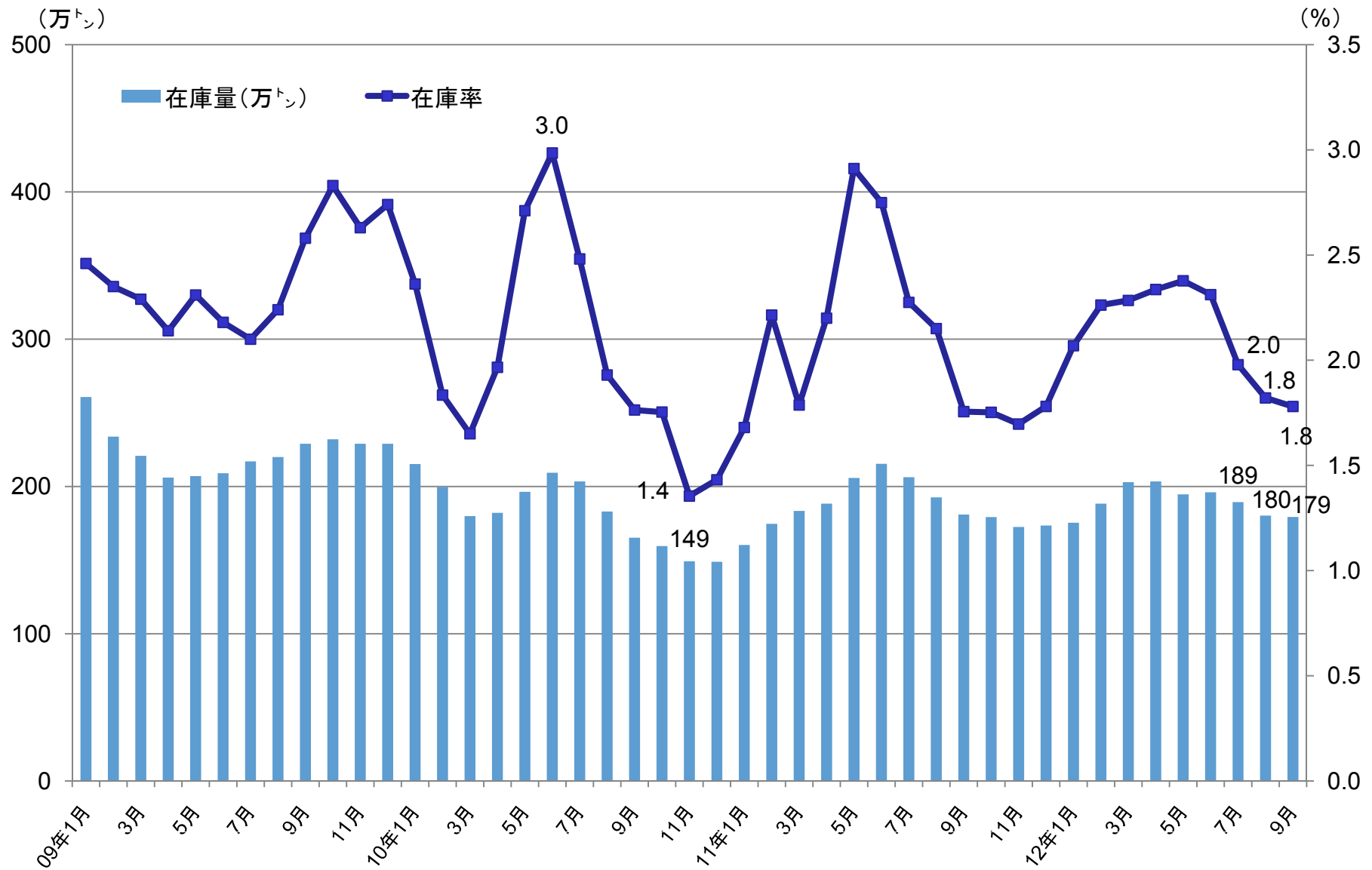
国内鋼材在庫推移 — 国内普通鋼鋼材・薄板3品在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材在庫推移 - ときわ会(H形鋼)在庫

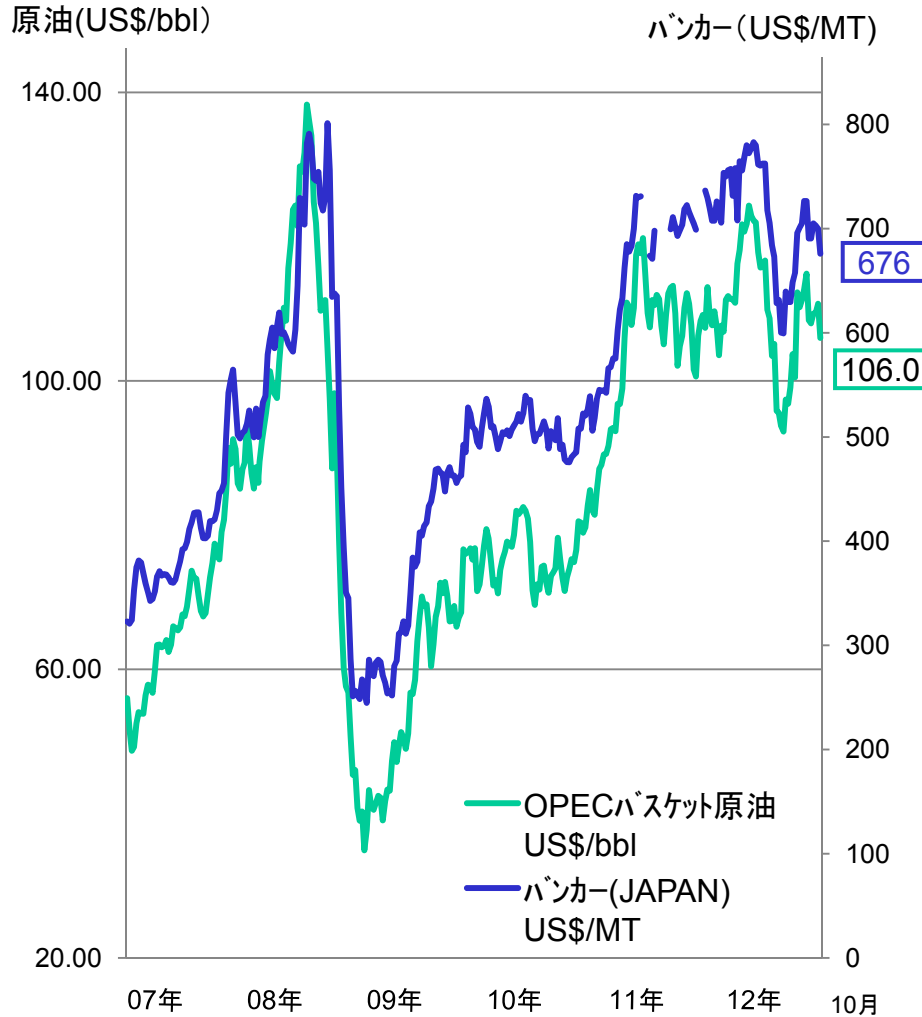


(出所: 日本鉄鋼連盟)

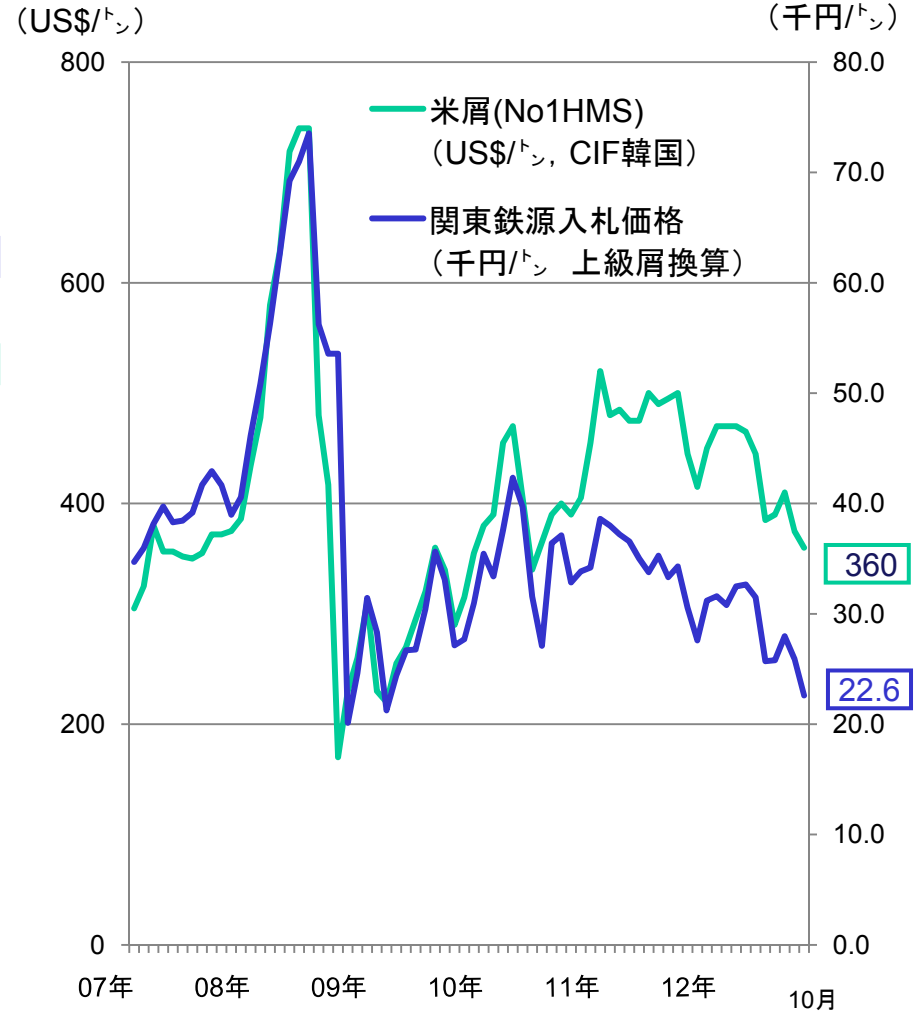
© 2012 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

原料市況 <原油・スクラップ>

原油



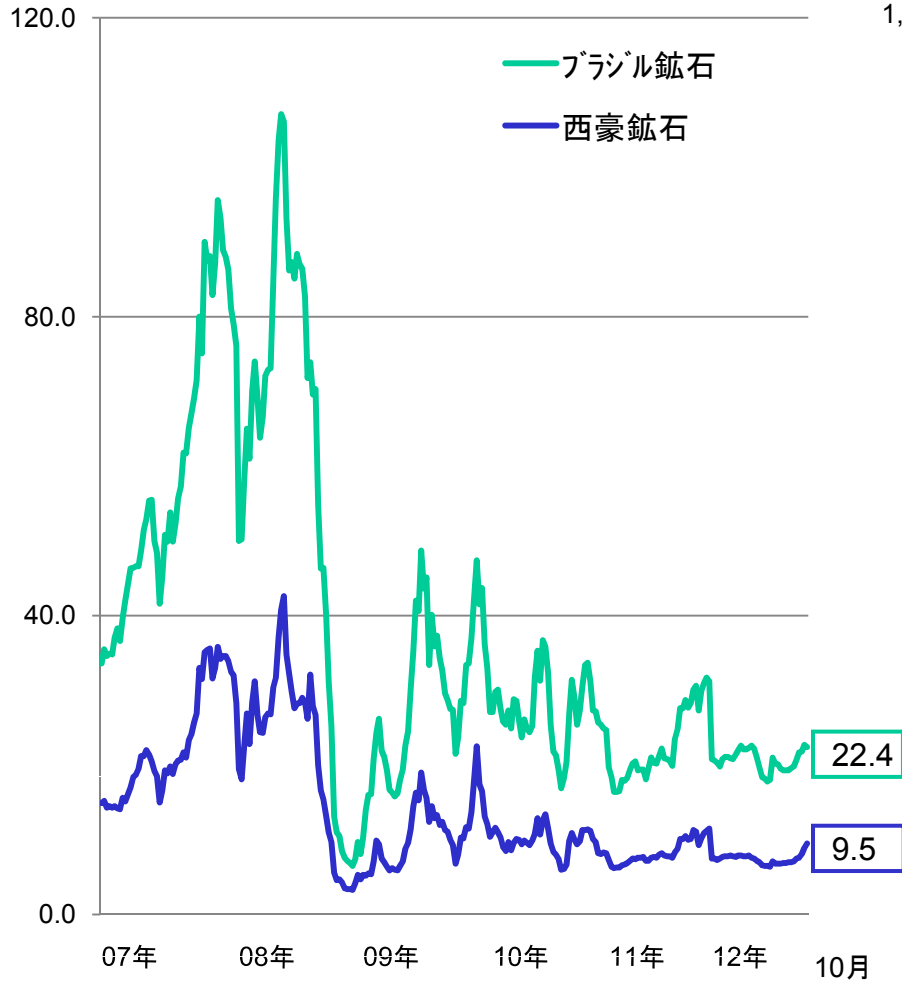
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

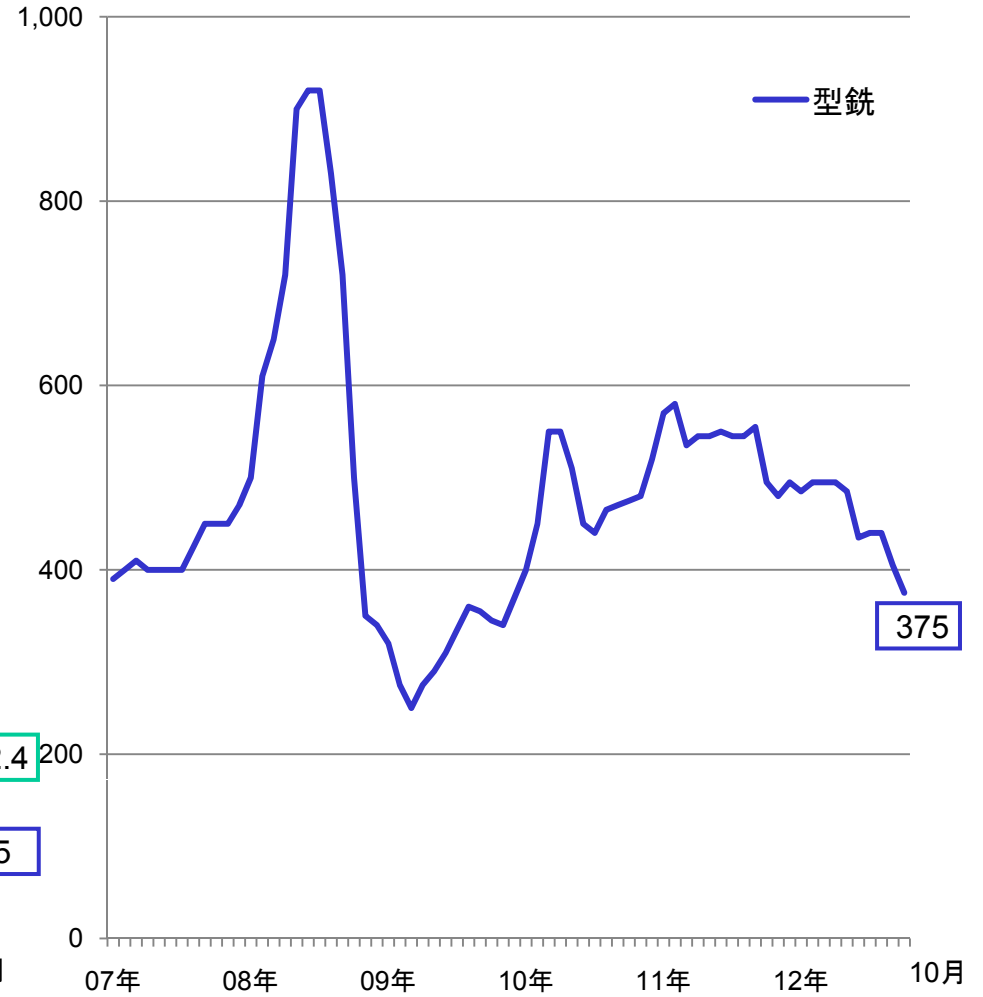
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。